



MSB53-26001/D2174-10310

スポーツマフラー

取付要領書・取扱説明書

この度はドレスアップマフラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本製品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載しております。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません。取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

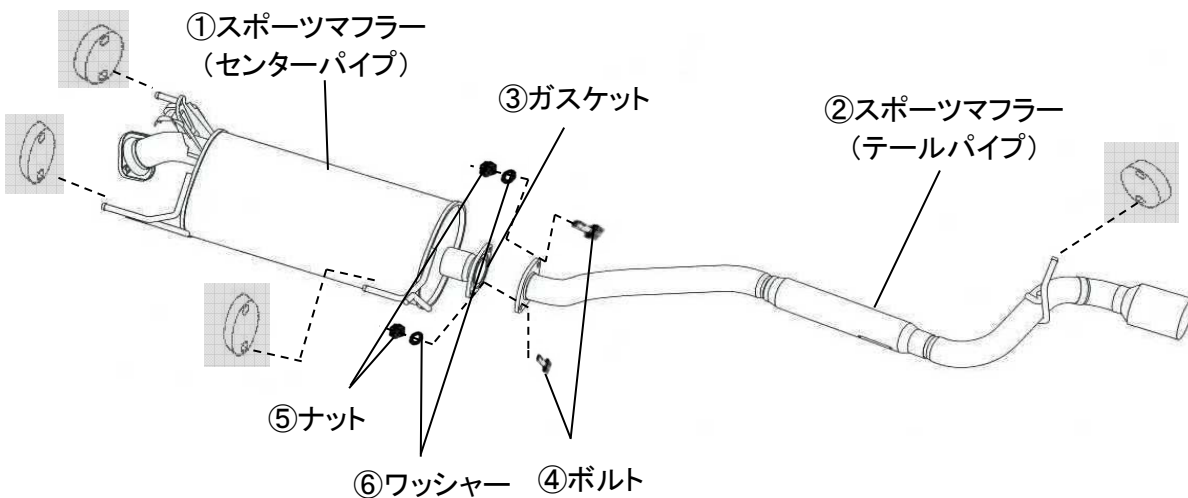
| 品番 | 適合車種 | 車両型式 | エンジン | 年式 |
|----------------------------|-------|-----------|--------|--------|
| MSB53-26001 D2174-10310 | ハイエース | TRH200K/V | 1TR-FE | 04.08~ |

※ 開封時に必ず構成部品が揃っていること、および外観のキズ、凹み等が無いことを確認してください。
取り付け後の不具合が判明しましても対応しかねる場合がございます。
※ 最新の適合情報は、MODELLISTAカタログサイトをご覧ください。(https://www.modellista.co.jp/)

■ 構成部品

| No. | 品名 | 個数 | 備考 |
|-----|-------------------|----|----|
| ① | スポーツマフラー(センターパイプ) | 1 | |
| ② | スポーツマフラー(テールパイプ) | 1 | |
| ③ | ガスケット | 1 | |
| ④ | ボルト | 2 | |
| ⑤ | ナット | 2 | |
| ⑥ | ワッシャー | 2 | |
| ⑦ | 取付要領書・取扱説明書(本書) | 1 | |

※ 本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認して下さい。



※ 部品は車両装着品をそのまま使用してください。

⑦取付・取扱要領書



取り付け上のご注意(取り付け作業の方へ)

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満たしていますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、又は使用状況等によってはその限りではない場合がありますのでご了承下さい。モデルスタ製品以外のエアロパーツとは同時装着が出来ない場合がありますのでご承知おきください。
- (2) 保安基準適合の為、取り付けは純正と同等、触媒やシールド等は取り外さず、必ず上記適合車種に取り付けてください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業をして頂く上で知っておいて頂きたいことを記載しています。

⊖ やってはいけないこと

Ⓜ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので、絶対に行わないでください。
- ⊖ 本商品の分解・加工は絶対にしないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- ⊖ 取り付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。車両が予期せず動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
- Ⓜ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- Ⓜ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。
- Ⓜ 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**(注1)を確保して下さい。
(注1:車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります。)
- Ⓜ 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合、路面との干渉にご注意ください。

⚠ 注意

- Ⓜ 本商品の交換、取り付け作業は必ず設備の整った専門の整備工場で行って下さい。
- Ⓜ 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
- Ⓜ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- Ⓜ 本商品の取り付けは、キズ防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分注意してください。
- Ⓜ 取り付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをするおそれがあります。
- Ⓜ 取り付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や事故の原因となります。
- Ⓜ 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取り付け部分や本体に変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
- Ⓜ 本商品取り付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となります場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

取り付けが終わったら

- Ⓜ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- Ⓜ 作業中にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- Ⓜ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
- 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

一般工具・トルクレンチ・軍手・保護シート・保護テープ

■ 保証

本商品は、1年・20,000kmの保証を致します。(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)
保証の詳細はMODELLISTAカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>「保証について」をご覧ください。

■ 仕様 (SUS材)

| エキゾーストパイプ | 出口テール | 触媒 |
|--------------|-----------------|--------|
| φ54, SUS436材 | φ90×60, SUS304材 | 純正触媒使用 |

■ マフラー取り付け要領

(1) 純正のテールパイプが冷えているのを確認してからテールパイプを取り外し、本製品①②に③を挟み込み純正品と同様の取り付け方法で仮止めします。

⚠ 注意

③ガスケットは必ず挟み込んでください。排気漏れの原因となります。
また、サポート部がインシュレーターと干渉しそうな場合、インシュレーターを折り曲げて下さい。
ボールジョイント締結部、サポートゴムは純正品をそのまま流用下さい。

⚠ 警告

テールパイプ脱着時にサポートゴムなどに潤滑剤等を使用した場合、確実に清掃を行い油脂分を取除いて下さい。
油脂分が残っていた場合、走行中に外れるなどの重大な事故の原因になります。

(2) テール位置を確認しながら、締結部を締めて下さい。

⚠ 注意

リアバンパーとテールが干渉しないよう、十分気を付けて下さい。

(3) 装着後、走行する前にアイドリング状態で15～20分の慣らしを行った後、再度各部ボルトの緩みがないか確認して下さい。

■ 取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- ⚠ 注意：本品を組付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエンジン回転に十分注意して走行してください。故障や破損、事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意：車両の定期点検を整備工場などで実施して下さい。
- ⚠ 注意：枯れ草や紙屑など燃えやすいものの近くを走行したり、駐停車はしないでください。火災や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意：運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、ただちに車を止め、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意：本商品は、「道路運送車両の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心して御使用いただける保安基準適合マフラーです。
但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によっては、その限りではない場合もありますのでご注意ください。

株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL: 050-3161-1000
<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

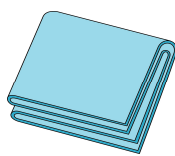


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

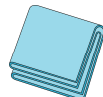
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



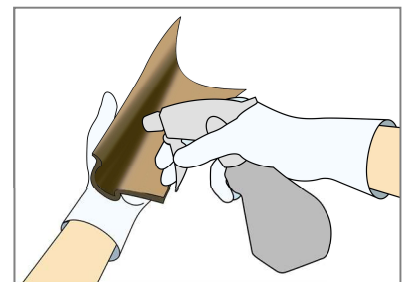
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

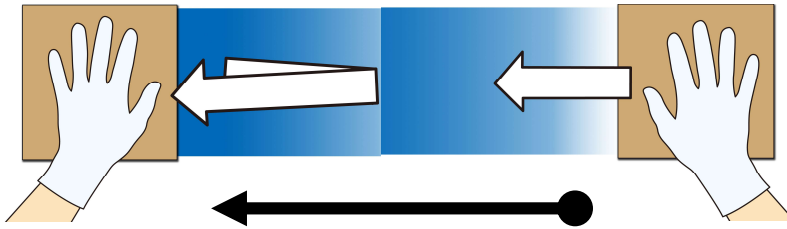
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

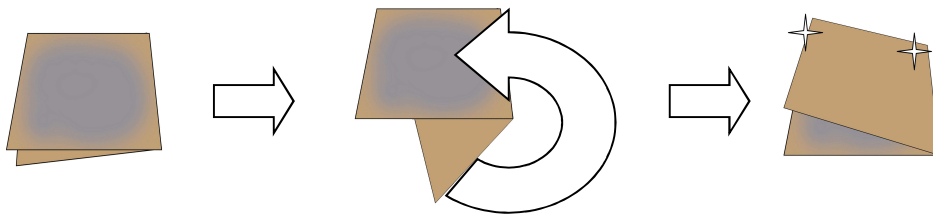
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。